**乳児ボツリヌス症の予防対策について**

　　　 厚生労働省医薬・生活衛生局より、平成29年4月7日付で

乳児ボツリヌス症による死亡事案が発表されました。

　　　　予防方法及び原因については下記のとおりとなっておりますので

予防対策、周知をお願いいたします。

～ボツリヌス症に関する情報として～

原　　因：**はちみつ**を含んだ食品の摂取によって、ボツリヌス菌の芽胞が乳児の体内へと入り込み、腸管内で増殖し毒素を発生させることにより、ボツリヌス症を引き起こすこととなっております。

　　　　　１歳以上の方が**はちみつ**を摂取しても、ボツリヌス症を発症することはありませんが、１歳未満の乳児は発生するリスクが高くなります。

予防方法：１歳未満児には、**はちみつ**を使った食品を一切与えないようにしてください。

　　　　　※ボツリヌス菌の芽胞は抵抗性が強いため、一度体内に入り込むと死滅させることは難しくなります。

症 条 例：便秘や筋力の低下、哺乳力の低下、泣き声が小さくなる

万が一、**はちみつ**等を飲み込んだ場合は症状が出ていないか、注意深く確認す

るようにし、病院で診察を受ける等、医師へ相談をしてください。